

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 みらいPlus			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 4日 ~ 2025年 12月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34人	(回答者数)	23人
○従業者評価実施期間	2025年 11月 4日 ~ 2025年 12月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団で個別療育と集団療育を行っている。 (午前小集団)	小集団活動の中で、個別療育と集団療育のそれぞれに適した支援目標を設定し、計画的に支援を行っている。少人数制の特性を活かし、子ども一人ひとりと丁寧に関わり、発達段階や特性に応じた支援を心がけている。 少人数での活動により、子ども同士のやり取りが生まれやすく、自然な形での関わりや経験を大切にしている。 支援者の配置にも余裕があるため、子ども同士の関係性を見守りながら、必要に応じて仲立ちを行い、言葉でのやり取りや気持ちの表出に繋がるよう支援している。	・子ども同士の関わりが段階的に深まるよう、集団活動の内容や構成を工夫する。 ・同一法人の他事業所と情報共有を行い、子どもの様子や支援内容を共有することで、一貫性のある支援につなげる。 (今年度より、情報共有の時間を増やした。)
2	多様な運動遊具・感覚統合器具が充実している。 子どもの発達段階や特性に応じて、粗大運動・バランス感覚・体幹・感覚統合など、さまざまな領域にアプローチできる環境が整っている。	各器具ごとに支援の目的を明確にしたうえで、子どもの発達段階やその日の状態に応じて活動内容や難易度を柔軟に調整している。また、安全に配慮しながら「少し頑張ればできる」経験を積み重ねることで、運動面だけでなく指示理解や順番待ち、気持ちの切り替えなど生活面や集団適応につながる力の育成を意識して支援している。	・運動遊具や感覚統合器具の活用方法について、職員間でねらいや支援事例を共有し、支援の質の均一化と向上を図る。 ・より多くの遊びの事例を学び、日々の支援の中で実践していく。
3	ABA（応用行動分析）を行っている。	4つの行動の機能を常に推測して支援を行っている。 活動後に記録を細かく取り、データとして残している為、異なる支援者が引き継ぐことになった場合でも、子どもの現状が分かりやすくなっている。 外部からABAのコンサルタントに定期的に入って頂き、指導や助言を頂いている為、客観的な視点から支援を振り返る機会がある。	引き続き、子どもと保護者様のニーズに合った支援ができるよう、寄り添った対応を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同一法人内で複数の事業所を利用している利用者に関しての情報共有の時間がとりにくい。	同一法人でも各事業所での活動の流れが違うため、情報共有をする時間が合わない。	毎週、全体会議を行っている。その会議の時間を増やして情報共有の機会をつくる。（現在、行っている）
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	児童発達支援 みらいPlus		公表日		2026年2月10日			
		利用児童数			34人	回収数	23人	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	0	0	0	十分に確保されていると思います。 広すぎるくらいのひびと活動させてもらっています。	子ども一人当たりの床面積の基準を満たし、のびのびと活動ができるスペースを確保しています。引き続き、整理整頓や構造化を心がけ、安心安全に過ごせるよう工夫を重ねています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	0	0	1	担当の先生以外の方にも対応してもらいたい、満足しています。 適切だと思います。 少ないを感じる事はなく、適切だと思います。	指定基準以上の職員配置をしています。 子どもの利用人数や活動内容に合わせて、児童が安心して活動できるように職員の配置人數を決めています。また、様々な分野での専門職を配置しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1	0	2	ケガをすることなく安全に活動できています。 写真を貼り、分かりやすいです。	今後も児童が快適に、かつ、安心して活動できるように多角的な視点で見直していきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	0	ケガをすることなく安全に活動できています。 活動活動によって配置を変えているので、心地よく過ごせていると思います。	今後も引き続き、安心安全に過ごせるよう、職員全員が感染症マニュアルを熟知し、掃除、消毒、換気を徹底します。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	23	0	0	0	子どものことを理解し、様々な形でアプローチしてもらっています。 特性に応じて支援されているので、子どもが安心して過ごせています。	今後も個々の特性をしっかりと理解し、その特性に応じた専門的な支援が行えるよう取り組みます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	1	適切だと思います。 支援内容は合っていると思います。	月間予定表は2カ月に1度作成し、保護者様に公表しています。引き続き、安心して通所して頂けるようプログラムを立案していきます。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	0	適切だと思います。 課題に向けた取り組みで、子どもも伸びているので作成されていると思います。	今後もこれまで以上に保護者様との連携を図り、常に新しい情報を聞き取り、本人や保護者様の気持ちに寄り添った個別支援計画を作成していきます。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	0	0	1	適切だと思います。 具体的な支援内容が設定されていると思います。	ガイドラインに基づく5領域の視点を全て含めた総合的な支援内容とインクレーブーションの観点を含めた支援内容を設定しています。今後も、「本人支援」「家族支援」「移行支援」を具体的に分かりやすくお示していきます。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0	適切だと思います。 支援が行われていると思います。	今後も今まで以上に支援計画に沿った支援が行えるよう、支援内容を勘案していきます。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	0	0	0	こどもも楽しんで受けれるようにいつも工夫して取り組んでもらっています。 飽きないように色々な方法で行っているので工夫されていると思います。	プログラムを楽しんでいただき、ありがとうございます。 固定化されないように年間計画や年間プログラムを立案しています。 今後も多角的な視点で考えています。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	3	10	あると思います。 交流したことがないので分からないです。 幼稚園、地域との交流は知らない、必要と思わない。	今後、機会があれば検討していきます。	
支援の質	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	0	0	0	ていねいに説明してもらっています。 丁寧な説明で分かりやすかったです。	今後も分かりやすく丁寧な説明を心がけています。ご不明なことがありましたら、いつでも対応できる体制を整えています。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0	ていねいに説明してもらっています。 しっかりと説明を受けました。	今後も支援計画を提示しながら、分かりやすい言葉で丁寧な説明を心がけます。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	0	0	0	定期的にされています。 行われていると思います。	今後も引き続き、保護者向けプログラムを提供していきます。 最低でも、開催する2ヶ月前には、手紙やブログ、事業所内の掲示板で随時お伝えします。たくさんの方が参加できるよう工夫を重ねていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	1	0	0	毎回支援後に情報共有しています。 連絡帳や口答で話しているので理解できていると思います。 トイレの相談をしたら、若いスタッフの方にどうしたらいいのか分からないとされました。	今後も職員全員が保護者様とコミュニケーションを取りながら、いろいろな情報を共有できる場を作ります。 ご相談に対し、十分な対応ができず、不安なお気持ちにさせてしまい申し訳ありませんでした。改めて職員間で情報共有し、経験年数に関わらず、ご相談に適切に対応できる体制を整えていきます。安心して色々な相談をしていただけるよう努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	0	0	0	毎回支援後に情報共有しています。 面談時に助言や支援があるので安心しています。	相談があった場合には、スタッフ全員で情報を共有し迅速に適切な対応を心掛けています。必要に応じて保護者面談も随時行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0	毎回支援後に情報共有しています。 共感的に支援されていると思います。	今後も引き続き、しっかり傾聴し、気持ちに寄り添った支援を心掛けます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	2	1	4	定期的にされています。 ラインで開催の知らせがあるので、支援されていると思います。 ペアトレ、アンガーマネジメント講習など、参加したいものが多いです。保護者会も色々な活動や話を聞けるので助かります。 各事業所ごとにイベントの様子を写真を用いてもう少しわかりやすく配信してほしい。事業所ごとのイベントでどれほどの人数の保護者がどんな感じで参加しているのかが不明瞭で参加しづらい。	毎月定期的に保護者会を開催し、支援内容の共有や勉強会、ゲームなどを取り入れながら、保護者様が参加しやすく、楽しみながら交流する機会を提供している。 また、参加された保護者様にはアンケートを実施し、「どのような内容の保護者会に参加したいか」「今後してほしいこと」などの意見を聞き、次回以降の保護者会の内容に反映するよう努めている。 保護者会の様子をインスタグラムなどで伝えています。 現在は保護者支援を中心とした内容が多く、兄弟児への支援を十分に取り上げることができていない点が課題である。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	0	0	0	いつもすぐに対応してくださり、感謝しています。 適切に対応されていると思います。	引き続き、保護者様と会話を重ねて信頼関係の構築に努めます。また、相談がしやすい関係性と環境を作り、相談があった場合には、迅速かつ適切に対応をいたします。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	0	いつもすぐに対応してくださり、感謝しています。 連絡帳や口答などで日々の様子を知れるので安心しています。	連絡帳や定期的な面談、お迎え時の申し伝えや必要であれば個別での電話連絡で意思疎通を図るようにしています。 また、言葉での情報よりも視覚的な情報の方が理解しやすい子どもには絵かたや写真などで対応しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	0	0	2	わかりやすく発信されています。 ラインで発信されていると思います。	今後も積極的に活動の様子をブログやインスタグラムなどで発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	4	適切だと思います。 十分に留意されていると思います。	今後も徹底して個人情報の保護に努めます。
非常時等の対	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1	0	0	適切だと思います。 訓練が行われていると思います。	全てのマニュアルを作成しています。契約時には重要事項説明書と共に別紙で説明しています。また、研修を行った時には随時SNSなどで発信しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	0	0	2	適切だと思います。 避難訓練したこと教えてくれるので実施されていると思います。	年に3回、訓練をおこなっています。 防災紙芝居等を利用しながら子供にも分かりやすい内容の訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0	適切だと思います。 十分に支援が行われていると思います。	今後も安全確保に努め、研修などに取り組みます。

応	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1	0	6	適切だと思います。 口答で伝達してくれます。 事故発生がこれまでないため。安全な環境づくりに感謝しています。 まだ、けが等したことがありません。 まだ一度もそのような状況になったことがないでわからない	今後も安心して通所していただけるように事故発生時マニュアルを熟知し、研修に取り組みます。また、事故発生時には、迅速に行動ができるよう心掛けます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0	やさしい先生ばかりで毎回楽しく通所しています。 泣かずに笑顔で通っています。	多くの保護者の方から好意的なご回答をいただき、職員一同大変嬉しく、日々の支援への励みとなっております。 保護者の皆さんに温かく見守っていただいていることを改めて実感するとともに、感謝の気持ちでいっぱいです。 今後も、お子さま一人ひとりが安心して通所し、楽しく過ごせるよう、より良い支援の提供に努めてまいります。 宜しくお願いいたします。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	0	0	0	やさしい先生ばかりで毎回楽しく通所しています。 「早く行きたい」と言って楽しみにしています。 みらいだけは嫌がることなく「行きたい」と言ってくれる。 とても楽しみにしています。 いつも楽しみにしています。ありがとうございます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	0	0	とても満足しています。 楽しみに行っているので安心しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 みらいPlus				公表日	2026年2月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	たくさん体を動かせるように広いスペースを確保している。個別療育、机上学習、集団活動の場所を分けている。	今後も子どもたちが活動しやすいように、十分なスペースの確保をしていく。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	子ども1人に対して支援者が1人つけるよう配置を心掛けている。	今後も職員の配置が適切になるようにしていく。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	学習と遊びのメリハリがつくようにしている。構造化された空間と障がいの特性に応じて視覚支援や聴覚支援などで伝達を行っている。	段差や危険な箇所には、視覚的支援を行い、注意喚起を行っていく。また、段差や危険な箇所の確認を日々行う。構造化された環境をつくる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日、整理整頓や消毒を心掛けている。活動に合わせた空間や場所を提供できるよう話し合いをしている。	今後も清掃を行い、清潔にする。子どもたちの活動スペースを十分に確保する。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	広い空間で個別の部屋が確保できないので、簡易的な仕切りを準備している。	隣接しているみらいカフェを利用できるようにする。また、必要に応じて場所の確保ができるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	毎日、チームで当日にあったことを話し合い、改善に努めている。	業務改善のための振り返りを行う。大まかな改善は職員全員で話し合い、各事業所の管理者が集まり詳細を決める。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者様からのアンケートの結果を職員一同で共有し、より改善できるよう話し合いを重ねている。	今後も保護者からのアンケートを継続して行い、保護者からの意見を受容し、改善に努める。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	月に一度、1on1を行っている。 管理者だけで決めず、職員全体会議で様々な業務を話し合っている。	職員全員が意見を言いやすい環境を作る。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	第三者による外部評価は受けっていないが、定期的にABAのコンサルタントを受けている。業務の改善に繋げている。	引き続き、業務改善に繋がることに取り組む。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	研修担当者(数名)を決め、会議でどのような研修が必要か、どのような内容にするのか話し合って決めている。 月に1回、内部研修を行っている。 年間計画で外部研修を決めている。 資格取得しやすい環境を整えている。	引き続き、自己研鑽ができる環境を提供できるようにする。	
支援計画	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムは、偏らないようにチームで話し合って決めている。公表している。	今後も活動内容を保護者様にお知らせしていく。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	最低でも半年に一度、アセスメントを行っている。変化があった時には、その都度アセスメントを行っている。アセスメントと本人、保護者のニーズを踏まえて次の支援計画を作成している。	今後も適切なアセスメントを行い、支援計画に反映させていく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	子どもの支援に関わる職員と児童発達支援管理責任者とのコミュニケーションが取りやすくなるようにしている。	支援計画の内容を話し合う時間をたくさん設ける。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	専門的支援が始まったことで、より計画に沿った支援を行っている。	今後も支援計画の内容を担当者に周知徹底をし、計画に沿う内容で作成していく。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	標準化されたツールを決めている。 日々の行動観察を記録用紙に書き易い工夫をしている。	全員が同じ基準で行動分析ができるよう経験を重ねる。	

適切な支援の提供	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	6	0	ガイドラインより、支援内容について「ねらい」や「支援内容」を理解し、必要な項目が適切に設定されるようにしている。支援目標や支援内容は、チーム全員で話し合って決めている。	「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携支援」のねらいについて、勉強会を行い、周知徹底していく。また、子ども一人ひとりに応じて適切な5領域が計画の内容に設定されるようにする。
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17	7	0	ミーティング等の時間を活用し立案をチームで行っている。	今後もチームでしっかりと話し合い、活動プログラムを立案していく。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	7	0	偏らないようにバランスよく活動プログラムを話し合って決めている。	子どもたちの様子を見ながら、プログラムが固定化しないよう工夫をしていく。
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	19	7	0	子どもの状況に応じて、個別療育できた事を集団の中で般化できるように支援を考えている。	今後も般化できるように支援内容を考える。
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	6	1	開始前には話し合う時間を作っている。話し合いが難しい時は、前日に話し合うようにしている。	話し合う時間がとれるようシフトなどを調整する。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	21	6	1	支援終了後は、職員間で振り返りを行っている。終了時間の関係で話し合いができない職員にも情報共有ができるようにしている。	振り返りをする時間を作り、どの職員も意見が言いやすい環境にしていく。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	22	7	0	毎日必ず記録をとることを徹底している	日々の記録を取ることを徹底し、過去の活動記録を見ながら、支援検証しやすい記録の仕方を周知徹底していく。
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	23	7	0	モニタリングで全職員が意見を出し合って見直しの必要性を判断している。	今後も継続していく。
	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	24	6	1	そのような機会があれば管理責任者と直接支援の職員とで参加する。	今後も子どもたちの日々を理解している支援者が面談に参加していく。
関係機関や保護者との連携	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	25	5	2		関係機関との連携をさらに深めていくようになる。関係機関から面談や見学の希望があれば、受け入れる。
	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	26	6	1	併行利用や移行を踏まえて支援内容を考えている。	保育所や幼稚園などとの間で相互理解までには至っていない。どのような支援をおこなっているのか情報共有を行っていく。情報共有の方法を考える。
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	27	4	3	現在は、保護者の希望がある子どもは情報共有を行っている。	保護者の希望があれば、今後も学校との情報共有を行っていく。
	(28~30は、センターのみ回答)	28				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	29				
	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	30				
	(31は、事業所のみ回答)	31				引き続き児童発達支援センターとの連携を取っていく。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	32	1	6	地域の中で他のこどもと活動する行事を立案することを検討。 保育所等訪問で様子を見る機会はあるが、活動はない。	機会があれば、検討していく。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	33	7	0	お迎え時や連絡帳でのやりとりを通して共通理解を持てている。	日々子どもたちの様子を口頭での説明、連絡帳、面談等を通して伝えていく。

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	子どもの保育も配慮した上で、研修を開催している。	今後もペアレントトレーニング等を継続していき、保護者にもお知らせをする。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	運営規定は各事業所の見やすい場所にいつでも見れるように設置している。契約時に支援プログラムや利用者負担額の説明を行っている。	今後も契約時に運営規程、支援プログラム、利用者負担等について説明を行う。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	支援計画を作成する前には、必ず保護者面談を行い意見や希望を聞いている。	今後も引き続き、保護者様と話し合いを重ねて、保護者や本人の意思や希望を踏まえた支援計画を作成する。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	同意を得たら必ず保護者からサインを頂いている。	今後も保護者に支援計画の説明を行い、必要に応じて、計画内容を変更していく。支援計画の内容の同意を得ることを徹底していく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	毎回の利用時に連絡帳を通して、相談や悩みを伝えやすい環境をつくるようにしている、	保護者から相談があった時には、迅速に対応ができるようにしておく。職員がお互いに相談がしやすい関係性を保てるようにする。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者会は開催しているがきょうだい同士での交流はない。 月1回保護者会を開催し、交流の場を作っている。	きょうだい同士の交流の機会はまだ設けていない。必要であれば行いたいと思う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	子どもファーストで可能な限り迅速に対応するようにしている。	今後も相談の申し込みがあれば、迅速に対応していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	かわら版・インスタ・HP SNS等を通して定期的に発信を行っている。	今後も定期的に日々の活動の様子をお知らせしていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		今後も個人情報保護を徹底していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		視覚支援を取り入れ、子どもたちが何をするか理解して見通しを持てるようにしていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		現在は行っていない。 機会があれば、検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	内部研修で机上の研修だけでなく、実践研修にも取り組んでいる。	マニュアルを取り出しやすい位置に置いて、すぐに見られるようにしておく。 今後も災害時に迅速に動けるよう訓練を行う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に避難訓練を行い非常時の対応を行っている。BCPは、必要に応じて追加変更を行っている。	継続して避難訓練を行う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に必ず服薬や薬の確認を保護者に確認している、	事前に、服薬や持病がないか必ず確認を行う。全事業所の子どもの情報共有を行う。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	内部や外部研修などで対応方法を学ぶようにしている。おやつ提供の際は、必ずアレルギーの確認を行っている。	今後も継続してアレルギー確認を行う。 アレルギーについての研修を取り入れる。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を作成し、その計画に沿って研修や訓練を行っている。	今後も安全計画を作成し、安全管理をしっかりと行う。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	災害があった時の連絡方法などを書面で伝えている。職員は研修で周知している。	避難訓練を行っていることを伝えたり、災害が起きた時の対応法を保護者に周知しておく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	全職員に回覧し、すぐに共有するようにしている。 月1の内部研修で共有している。	何かあれば、すぐにヒヤリハットに記載し、共有と再発防止を職員間で徹底していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止研修とメンタルヘルス研修を行っている。	今後も虐待防止研修を継続して行う。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2		現在、身体拘束が必要な利用者はいないが、必要な場合の基準を明確にしておく。